

「サイエンスキャンプ（SPP合宿型学習活動）」 に関する受入実施機関の平成19年度募集について

（趣旨）

サイエンスキャンプは、夏期休業・冬期休業・春期休業の期間中、高等学校、中等教育学校後期課程、高等専門学校（1～3学年）等に在籍する生徒が、最先端の科学技術を直接体験・学習できる2泊3日の科学技術体験合宿プログラムです。

本プログラムは、次代を担う青少年が、先進的な研究施設や実験装置がある研究現場で実体験し、第一線で活躍する研究者、技術者等から直接講義や実習指導を受けることにより、科学技術に対する興味・関心を高め、学習意欲の向上を図り、創造性、知的探求心等を育てることをねらいとしております。

平成18年度は各機関のご協力のもと、年間を通じ70会場で900名（参加者は公募により選考）以上の規模となりました。プログラムの更なる充実の観点から、平成19年度より新規に、受入実施機関について募集を行います。

なお、本公募の実施については、平成19年度政府予算案の成立を前提としていません。

※参考：

サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト（以下「SPP」という。）は、様々な最先端の研究成果や研究施設・実験装置等を有する大学、科学館・科学系博物館、公的研究機関、民間企業、学会等と、中学校、高等学校等の学校現場との連携により、児童生徒の科学技術、理科・数学に関する興味・関心と知的探求心等を育成することを目的としています。

公募により以下のプログラムを行っています。（詳細は：<http://rika.jst.go.jp/spp/index.htm>）

- ・ サイエンスキャンプ（合宿型学習活動）
- ・ 講座型学習活動、教員研修 等

（募集対象機関）

- ・ 大学
- ・ 公的研究機関
- ・ 民間企業

（募集機関数）

- ・ 受入実施機関数 約100機関程度

（受入実施機関としての役割及び留意点）

別紙2をご参照ください。

（提出書類）

本募集のホームページ（URL <http://rika.jst.go.jp/camp/index.htm>）から応募書類をダウンロードして、「実施計画書」を作成して提出してください。なお、作成にあたっては、「サイエンスキャンプ実施計画書」の作成についてを参照してください。

(公募受付期間)

平成19年1月25日(木)～平成19年2月23日(金)(必着)

(選定)

応募機関数が募集機関数を大幅に超えた場合等には、前年度までの取組み実績、実施分野、地理的条件等を勘案し、外部の有識者等から構成される委員会の審議に基づいて、JSTにおいて受入実施機関を選定します。

選考結果は、平成19年3月上旬に郵送にて通知します。

(応募書類の提出方法)

「実施計画書」を作成して下記に郵送するとともに、メールでも送付してください。

(提出先・お問合せ先)

独立行政法人科学技術振興機構

理数学習支援部 連携学習支援課(担当:大崎、中沢)

〒102-8666 東京都千代田区四番町5-3

TEL 03-5214-7638 FAX 03-5214-7488

e-mail: camp@jst.go.jp

受入実施機関としての役割及び留意点

1. 前提条件

(1) キャンプの開催時期

夏期休業（平成19年 7月25日（水）～平成19年8月30日（木））

冬期休業（平成19年12月22日（土）～平成20年1月 6日（日））

春期休業（平成20年 3月20日（木）～平成20年3月30日（日））

※ 上記期間のうち、開催希望の時期を選択していただきます。

(2) キャンプの期間

2泊3日

(3) 受入人数

10名から20名程度

(4) 開催に伴う役割分担

<p>(共催) 受入実施機関の主な作業及び役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 募集要項作成への協力、参加者の選考 ・ プログラムの作成 ・ テキストの作成 ・ 施設の提供 ・ 参加者の引率（昼間） ・ 宿泊施設の提供（可能な場合。不可であれば事務局が手配） ・ 食事（昼食等）の手配 ・ 交流会の開催 ・ 実習に必要な器具の提供、消耗品の準備 ・ サイエンスキャンプ実施に伴う事前説明会への参加 ・ その他サイエンスキャンプ実施に必要な事項
<p>(主催) JSTの主な役割</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加者の募集 （高等学校等、教育委員会、関係機関への広報、募集要項、ポスター作成） ・ 受入実施機関との調整（必要経費・プログラム・指導体制・安全確認他） ・ 実施に伴う消耗品等の負担 （参加者1人当たり15,000円以内） ・ ティーチングアシスタント費の負担 ・ 参加者の宿泊費用・傷害保険料の負担 ・ アドバイザー（高校教諭）の配置 ・ 実施に伴う各種会議の開催 ・ その他サイエンスキャンプ実施に必要な事項

※自宅から会場までの交通費については参加者の自己負担。

(5) 留意事項

- ・ 参加者の募集等の広報はJSTにて行いますが、各受入実施機関における参加者の選考については各受入実施機関にてご判断いただきます。なお、参加者の応募状況によりプログラムの実施が成立しない場合もございますので、あらかじめご了承願います。また、開催希望時期については、調整させていただくことがあります。
プログラムの実施に伴う消耗品費等として、参加者1人当たり上限15,000円をJSTが負担いたしますが、必要な消耗品等の準備は受入実施機関にて行っていただきます。なお、原則として受入実施機関にて取りまとめた経理書類に基づき、JSTが直接支出手続きを行います。
- ・ 各受入実施機関においては会場費、光熱水費、講師等の人件費（TA：ティーチングアシスタントが必要な場合は採択後別途調整）、上記予算では賅えない消耗品等について各受入実施機関にてご負担願います。
- ・ 本年度初めて受入実施機関となる機関（同一機関が受入実施機関となった実績があっても、会場が異なる地域である場合を含む。）については、上記消耗品費（1人当たり15,000円）とは別に受入環境の整備に必要な経費について、20万円を上限にJSTが負担いたします。
- ・ 実施に向けた安全管理、プログラム内容等に関する具体的な事項は、受入実施機関の選定後、再度事前打合せのうえ、決定させていただきます。

2. プログラム内容に関する留意点

- ・ それぞれの受入実施機関の特徴を生かしたテーマの実習、実験、観察を重視する内容としてください。
- ・ プログラムの進め方については、導入の講義から実験や実習に入るようにし、必要に応じて実験のまとめの時間を入れる内容としてください。最終日には、発表又はディスカッションの時間を入れる内容としてください。
- ・ 出来る限り生徒に考えさせて理解度を確認しながら進めることとし、内容過多にならないよう注意してください。
- ・ 先進的な科学技術や基礎研究を、高校生が理解できるプログラム作りに配慮願います。

3. 参考

平成18年度までの開催状況につきましては、以下をご参照ください。

<http://ppd.jsf.or.jp/camp/2007sp/index.html>

以上